

5. G I G Aスクール構想について。

(1) G I G Aスクール構想の実現に向けて、本市はどのように取り組むのか。

(2) G I G Aスクール構想を実現するために。

①5年後にどのような状態にしたいのか、明確なビジョンを策定すべきではないか。

②ビジョンを達成するために必要なC S F（重要成功要因）を精査した上で、対応する施策を検討し、年次計画を策定すべきではないか。

③各施策に対してK P I（重要業績評価指標）を設定し、年度ごとに検証・改善するなどして、ビジョンの実現を目指すべきではないか。

【答弁】

5. G I G Aスクール構想についての(1)(2)につきまして、順次お答えいたします。

まず、(1)について、お答えいたします。

G I G Aスクール構想の実現に向け、本年度はその準備期間と位置づけております。まず、端末の導入スケジュールでございますが、9月、12月、3月の3回に分けて導入したいと考えております。次に、指導者のスキルアップについては、実際に導入する端末を用いた教職員研修の実施も予定しており、すでに開催した授業映像配信に係る研修に加えて、タブレット端末の基本操作や授業支援ソフトの活用など複数回に分けて本年度中に実施してまいります。

次に、(2)①から③までは関連いたしますので、一括してお答えいたします。

G I G Aスクール構想においては、子どもたち自身が、学校の授業や家庭学習等においてタブレット端末を主体的に活用できることが重要であると考えております。

こうしたことから、議員ご提案のように、5年後の活用ビジョンを明確化することやビジョンを達成するための段階的な取組みの推進を図るために年次計画を策定することが重要であると認識しております。また、先進的な他市町村の取組みや重要成功要因、重要業績評価指標などを研究し、適切な施策を実施していく必要があると考えております。今後は、具体的な取組みを進めるために、学校教職員の中から本市のI C T教育を推進するための人材を選出し、プロジェクトチームを編制した上で、効果的な活用方法や年次計画等の検討を進めてまいります。

また、定期的に各学校の活用状況を把握し、それぞれの学校の課題に応じて校内研修等の支援を実施することで、学校間でI C T活用の状況に差が生じることのないように努めてまいります。

以上、お答えとさせていただきます。